

平成30年度 事業報告書

自 平成30年4月1日

至 平成31年3月31日

社会福祉法人

多可町社会福祉協議会

平成30年度 事業報告

平成30年度は、「第3次地域福祉推進計画」（平成28年度～令和2年度）に基づく取り組みの中間地点であり、地域住民等で組織する外部評価委員会を立ち上げ、進捗状況の点検や評価・見直しをおこないました。基本目標である「みんなが安心して暮らせるまちづくり」を推進し、4つの活動目標、①「きづく」共に学びあい、思いやりの気持ちを育む地域づくり、②「つながる」みんなが参加し、つながりあう地域づくり、③「ささえあう」ご近所づきあいから始まる地域づくり、④「ささえる」地域で生活するための様々なサービスなどの活動、社会福祉協議会の組織強化に即し、活動・事業を展開しました。特に重点活動の「きづく」「つながる」について以下の3点の取り組みをおこないました。

1点目には、「きづく」「つながる」活動の重要性をさらに地域へ広げるために、集落に住む人同士の支え合いをすすめるための懇談会や福祉学習、話し合いの場の支援に努めるとともに、見守り、支え合える地域づくり講演会を2回開催しました。

また、2点目には、近隣で気づき合える、支え合える関係づくりとして、多くの地域でふれあいきいきサロンがおこなわれるよう、サロンスタッフ同士が情報交換できる場の開催など、気軽に集まれるサロンの開催支援に努めました。

さらに、3点目として、ふれあい型給食サービスや地域見守り訪問などの事業への身近なボランティア派遣をおこなうことで、ボランティアによる見守り体制づくりに努めました。

介護事業においては、利用者個々のニーズに合ったサービスを提供し関係機関と連携を図ることで在宅生活を支援することができました。

以下、平成30年度の各事業等について報告します。

基本目標 「みんなが安心して暮らせるまちづくり」

多可町社会福祉協議会では、地域福祉の推進を住民のみなさんと一緒に進めるため、基本目標を「みんなが安心して暮らせるまちづくり」と掲げています。

活動目標

基本目標を実現するために、4つの活動目標を設定しました。これを基に福祉活動を展開していきます。

- 【1】 きづく（重点活動）
- 【2】 つながる（重点活動）
- 【3】 ささえあう
- 【4】 ささえる

年次計画

基本目標と活動目標を進めるため、下記のことに取り組みをおこないます。

- 【1】 福祉学習の実施
- 【2】 啓発活動の充実
- 【3】 身近なボランティアコーディネート
- 【4】 ふれあいいいききサロンへの支援
- 【5】 当事者支援
- 【6】 ちょっとした困りごとをみんなで解決していけるような見守り支援体制の構築
- 【7】 ボランティアがしたくなる仕組みづくり
- 【8】 困り事や解決方法等を共有し、多くの地域で困り事が解決できる見守り支援体制の構築
- 【9】 各種福祉サービス

■福祉学習の推進（活動目標1／きづく、活動目標3／ささえあう）

福祉に関心を持ってもらい、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、ボランティアや当事者などの協力を得ながら地域や学校で福祉学習をおこない、特に集落において開催ができるよう関係機関への協力を求めました。

社協活動や事業を地域の方に理解してもらうために社協ガイドを作成し、5月に全戸配布しました。

見守り支援体制の構築のため集落での福祉学習を実施し、意識の向上を図りました。また、多可町内の学校・認定こども園・キッズランド等がおこなう福祉プログラムに対して助成をおこないました。

（集落への福祉学習・福祉懇談会）3集落、3回

実施集落	実施回数	内容
中村町	1	介護保険制度勉強会
市原	1	白地図
中野間	1	役員への説明

（学校等団体への福祉学習）6カ所、39回

実施団体	実施回数	内容
中町北小学校	9	ボランティア学習、高齢者疑似体験 車いす体験、アイマスク体験 点字体験、手話体験 サウンドテーブルテニス体験 朗読体験、手話歌学習等
中町南小学校	7	
杉原谷小学校	8	
松井小学校	6	
八千代小学校	7	
北はりま特別支援学校	2	ボランティアについて考える 車いす体験（先生向け）

（学校・認定こども園・キッズランド等の福祉プログラムの助成）17カ所

助成団体	助成額（円）	内容
北はりま特別支援学校	50,000	プランター交流、さつまいも交流
多可高等学校	50,000	ちいきふれあいプロジェクト、福祉学習、ボランティア活動
中町中学校	50,000	社協まつり、豪雨義援金・ペットボトルキャップ寄贈、グリーンヴィラ妙見慰問演奏会
中町北小学校	50,000	福祉学習
中町南小学校	50,000	福祉学習、北はりま特別支援学校との交流、学習のまとめ
みどりこども園	40,000	さつまいも交流、祖父母とのふれあい
あさかこども園	40,000	運動会による多世代交流

四恩こども園	40,000	夏まつり、お正月集会
加美中学校	50,000	社協まつり出展、あすチャレスクール事業
杉原谷小学校	50,000	福祉センター見学、福祉体験学習
松井小学校	50,000	福祉体験学習、給食サービス弁当包装紙づくり
キッズランドかみ（幼・保）	40,000	ひまわりまつり、さつまいも畑畝作り、とんど櫓づくり等
八千代中学校	50,000	キッズランドやちよ誕生日会
八千代小学校	50,000	福祉学習
キッズランドやちよ（幼・保）	40,000	ふれあいまつり、環境整備、お別れ会
ちびっこランドらくえん	20,000	夏野菜栽培交流会、地域の人との芋掘り交流会、陶芸教室との交流等
子育てふれあいセンター	20,000	子育てカーニバル、地域との交流、ボランティア交流会

■生きがい活動支援通所事業の実施（活動目標1／きづく、活動目標2／つながる）

町からの受託事業として、在宅で生活しているおおむね65歳以上の高齢者を対象に、家に閉じこもりがちにならないよう、老人福祉センターにおいては健康チェックやゲームなどをおこない、心身機能の維持向上に努めました。

生きがい活動/春蘭荘（参加者数）	1,317（中区 513、加美区 546、八千代区 258）
生きがい活動/春蘭荘（実施回数）	58（中区 20、加美区 26、八千代区 12）

全集落の公民館において地域介護予防講座で「いきいき百歳体操」の啓発をおこないました。

地域介護予防講座（参加者数）	2,054（中区 760、加美区 796、八千代区 498）
地域介護予防講座（実施回数）	113（中区 39、加美区 44、八千代区 30）

■社協だより多可、たかテレビ等による情報発信（活動目標1／きづく）

社協だより多可、ホームページは、「見やすく」「分かりやすく」タイムリーな情報提供ができるよう工夫しました。また、Twitter（ツイッター）、Facebook（フェイスブック）も利用し情報がより多くの住民に届くよう努めました。

さらに、たかテレビの『あっ！たかインフォ』などを活用し、社協活動を積極的にPRしました。

媒体	回数
社協だより多可	12
社協ホームページ	39
Facebook、Twitter	48

たかテレビ (あっ!たかインフォ)

放送月	内容
4	学校向け福祉学習
5	社協ガイド
6	傾聴ボランティア
7	社協まつり
8	視覚障害者の生活紹介
9	地域包括ケアネットワークミーティング 「支え合うってなんやろね?」DVD
10	赤い羽根共同募金
11	歳末たすけあい募金
12	福祉車両貸出
1	ちょいボラグループやちよお助け隊
2	ボランティア募集
3	多可町身体障害者福祉協会

■介護者だよりの発行 (活動目標1/きづく)

介護に役立つ情報や介護者の会の活動をお知らせするために「介護者だより」を毎月発行し、町内の介護者に配布しました。

*12回発行

《介護に役立つ情報 (介護のポイント) に掲載したもの》

- ・多可町介護者の会の紹介・報告
- ・傾聴ボランティア活動の紹介
- ・寝たきりゼロへの10か条の紹介
- ・料理教室献立の紹介
- ・健康体操の紹介
- ・車いすの介助方法の紹介
- ・介護者からのメッセージの紹介
- ・福祉車貸出事業の紹介
- ・家族介護教室事業講演会の報告

■社協まつりの開催 (活動目標1/きづく、活動目標2/つながる)

福祉についての理解と関心を高め、地域の支え合い・助け合い、福祉のまちづくりについて考える機会とするため、地域住民や各種団体・関係機関等と連携し、開催しました。

開催日	7月22日 (日)
開催場所	ベルディーホール
来場者数	約900名
内容	講演会 (講師: 西川ヘレン氏)、福祉体験、介護技術教室、ボランティア活動相談、事業所の模擬店、フリーマーケット等

■家族介護教室事業の実施（活動目標1／きづく）

社協まつりにて、介護事業課によるブース「介護のタイムトライアル&社協ウルトラクイズ」の実施と、加美プラザにて認知症の人と家族の会 山崎敬一氏を招いて「認知症は妻からの贈りもの」と題し講演会を開催しました。

内容	開催日	講師名	参加者数	開催場所
社協まつりの一コーナー	7月22日(日)	介護事業課 職員	約900	ベルディーホール
講演会	2月5日(日)	認知症の人と家族の会 山崎 敬一 氏	128	加美プラザ

■生活支援体制整備事業（活動目標1／きづく）

自分たちが暮らすまちを見つめ直すきっかけづくりに「みんなで始めるささえあい活動」をテーマに講演会を2回開催しました。

内容	実施日	講師名	参加者数	会場
講演会①	8月8日 (水)	ご近所福祉クリエイション 酒井 保 氏	73	ベルディーホール
講演会②	12月2日 (日)		33	加美プラザ
	12月2日 (日)		13	八千代プラザ
	12月2日 (日)		24	社協本部

■各種ボランティア養成講座、研修会等の開催（活動目標1／きづく）

ボランティアの育成やスキルアップ、またボランティア相互の交流を図るために、各種講座や研修会、交流会を開催しました。講座等ではアンケートなどを実施し、次回講座のための参考にします。

内容	開催日	延べ参加者数	開催場所
点訳ボランティア養成講座	6月16日 ～ 12月15日	95	旧西脇市図書館 西脇勤労福祉センター
介助ボランティア養成講座 (ガイドヘルプ)	6月26日	10	アスパル
介助ボランティア養成講座 (車いす)	11月5日	14	社協本部
リスナーとボランティアのつどい	11月28日	9	おもいで荘
ボランティア交通安全教室	12月11日	18	八千代プラザ
発達障害者支援ボランティア養成講座	1月9日 1月16日	26	北はりま特別支援学校
ボランティア研修会	3月6日	113	ベルディーホール

◆各行事・事業の支援

活動内容	主な事業名や依頼先	派遣回数	延べ派遣人数
調理・配送・回収	ふれあい型給食サービス	95	970
交流	障がい者の事業所とボランティアの交流 一人暮らし高齢者のつどい 身体障害者福祉協会 北はりま特別支援学校	53	247
訪問	地域見守り訪問 グループホームやすらぎの郷	75	175
介助	ハートフルツアー デイサービスやすらぎ買い物ツアー 青い鳥学級（生涯学習課）、 多可赤十字病院老人保健施設	34	99
託児	こども未来課、生涯学習課、図書館、 子育てふれあいセンター キッズランドかみ、キッズランドやちよ	33	125
運転	外出支援サービス	303	303
運転・介助	買い物ツアー、多可赤十字病院	81	315
傾聴	在宅傾聴訪問 多可赤十字病院老人保健施設	77	148
音訳	朗読CD（テープ）の貸出	48	336
レクリエーション	ふれあいいきいきサロン グリーンヴィラ妙見、しあわせ荘 清爽の里、矢持医院、楽久園会、老人会 集落	49	114
行事手伝い	社協まつり、障がい者スポーツ大会 クリスマス親子コンサート 多可町介護者の会、養徳会、楽久園会 あすなろの郷	18	124
補助	元気あつぷ広場（福祉課） 福祉学習（小学校）	41	89
災害支援	多可町内、岡山県倉敷市真備町	2	17

■ふれあいいきいきサロン活動の支援(活動目標1/きづく、活動目標2/つながる)

地域住民が気軽に集まり、つながりと生きがいを持ちながらお互いに助け合い、誰もが地域でいきいきと安心して暮らせることを目指し、サロンスタッフ研修会の開催、レクリエーション遊具の貸出、活動経費の一部助成、サロンに関する各種相談など、サロンへの支援をおこない、多くの地域でサロンが開催されるよう努めました。特に、開放型ふれあいいきいきサロンの開設に向けて啓発をおこないました。

また、偶数月にサロンスタッフのためのサロンを開催し、気軽に情報交換できる場を作っています。サロンへの助成については年4回以上実施計画サロンへの助成(20,000円)と年2～3回実施計画サロンへの助成(5,000円)をおこないました。

内容	回数	参加者数
サロンスタッフ研修会	1（4月7日）	41
スタッフサロン	6（偶数月）	46

（ふれあいいいききサロン）

サロン数	実施回数	活動助成件数	地域応援事業利用集落数
48	372	48	16

■一人暮らし高齢者のつどい（虹のつどい）の開催（活動目標2／つながる）

70歳以上の一人暮らし高齢者とボランティア、民生委員児童委員との交流・情報交換を目的に開催しました。つどいのなかでは小学生や園児、障がい者等との交流もあり、高齢者の生きがいがづくりの場となっています。

	中区	加美区	八千代区
開催日	10月5日（金）	10月12日（金）	10月19日（金）
開催場所	グリーンプラザ	加美プラザ	八千代プラザ
参加者数	54	11	21

■障がい者の事業所とボランティアの交流

（活動目標1／きづく、活動目標2／つながる）

交流を通して、障がいや事業所への理解を地域に深めるとともに、利用者の自立生活を支援しました。

事業所	中区		加美区	八千代区	
	開拓松葉園	ワークステップ はーもにい	みどりの家	NPO法人やちよ あすなろ の郷	びいす
実施回数	11	11	12	6	6
参加者数 （ボランティア）	18	32	37	33	40
開催日	毎月第3金曜日	毎月第3金曜日	毎月第3木曜日	毎月第3火曜日	

■ハートフルツアーの開催（活動目標1／きづく、活動目標2／つながる）

身体・知的・精神障がい者が海遊館を鑑賞し、障がい者の社会参加や親睦・交流を図ることを目的におこないました。

開催日	12月5日（水）
参加者数	33

■クリスマス親子コンサートの開催（活動目標2／つながる）

在宅で乳幼児を育てている親に、子どもと一緒に本格的なクラシックコンサートを聞く場を提供するとともに、子どもにも生の音楽に親しんでもらい親子のリフレッシュや交流を目的に子育てふれあいセンターと共催で開催しました。

開催日	12月9日（土）
開催場所	エーデルささゆりチャペル
参加者数	157

■視覚障がい者への支援（活動目標1／きづく、活動目標2／つながる）

視覚障がい者の情報保障として社協だより多可、広報たか、議会だよりなどを朗読CD・テープへ吹き込み、視覚障がいのある希望者へ毎月届けました。また、多可町図書館にも貸出用として設置し、希望者への貸出をおこないました。

（朗読CD・テープ）

利用者数	11
発送件数	111

■障がい者スポーツ大会の開催（活動目標1／きづく、活動目標2／つながる）

身体・知的・精神障がい者がスポーツ競技を通じて、お互いの交流と親睦を深めるとともに、障がい者の社会参加の意欲高揚と体力の維持増進を図りました。

また、地域住民の障がいに対する理解と認識を深め、共に生きる地域社会づくりを目指すことを目的に開催しました。

開催日	10月27日（土）
開催場所	アスパル
参加者数	87

■福祉団体の事務および活動支援（活動目標2／つながる）

老人クラブ連合会や身体障害者福祉協会、手をつなぐ育成会、遺族会、ボランティア連絡会、介護者の会の事務局として、各種団体の運営・活動支援をおこないました。

■地域見守り訪問事業の推進（活動目標1／きづく、活動目標3／ささえあう）

敬老の日発祥の町多可町として敬老の精神を広めるために、80歳以上の一人暮らし高齢者を対象としてボランティアや地域福祉推進委員が誕生月に訪問し、健康と長寿のお祝いに花を届けました。また必要に応じて、日常生活の中での不安や困りごとなどを聞き取り、適切なサービスや関係機関につなげました。

訪問者数	234（中区 120、加美区 62、八千代区 52）
------	----------------------------

■地域福祉活動助成事業の推進（活動目標3／ささえあう）

町内の地域福祉の推進を図ることを目的とした団体・グループに助成を行うことで、住民主体の地域福祉活動の充実・活性化を図り、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めました。

助成団体	助成額（円）
西脇点訳友の会	30,000
たか手話サークル	40,000
グループちよいボラ	40,000
多可町介護者の会	50,000
八千代交流広場推進協議会	40,000

■福祉機器貸出事業の実施（活動目標4／ささえる）

在宅で介護を要する人を対象に、福祉機器を無料で貸し出し、在宅での療養生活の利便を図りました。要介護者や身体障がい者の方については、介護保険サービス、日常生活用具給付事業及び補装具費支給事業を優先します。

貸出品名	介護用ベッド	車いす・スロープ等
期 間	3ヶ月間	6ヶ月間

貸出品名	件数
介護用ベッド	4
車いす	75（中区 44、加美区 22、八千代区 9）
スロープ	0

■福祉車貸出事業の実施（活動目標4／ささえる）

車いすやストレッチャーを使用しないと外出できず、かつ家庭において運転ができる家族がある人を対象に、福祉車を貸し出し、医療・保健・福祉等の利用の便を図りました。

登録者数	45（中区 17、加美区 16、八千代区 12）
利用件数（町内）	104（中区 32、加美区 60、八千代区 12）
利用件数（町外）	72（中区 34、加美区 19、八千代区 19）

■ふれあい型給食サービス事業の実施（活動目標4／ささえる）

調理が困難で見守りが必要なおおむね65歳以上の一人暮らし高齢者や高齢者のみの世帯、障がい者等にボランティアが調理した給食を届けました。地域包括支援センターや民生委員児童委員などと連携を図るとともに、見守りシートの回収を通して、利用者の健康状態や不安の把握など見守り活動を促進しました。

	中区	加美区	八千代区
調理場所	中プラザ	交流会館	八千代プラザ
実施日	毎週木曜日		

（実績）

登録者数	113（中区 55、加美区 40、八千代区 18）
配食数	3,941（中区 1,980、加美区 1,334、八千代区 627）
調理ボランティア数	290（中区 93、加美区 106、八千代区 91）
配送・回収ボランティア数	680（中区 255、加美区 161、八千代区 264）
実施回数	48

■買い物ツアー事業の実施（活動目標4／ささえる）

普段外出しにくい、おおむね75歳以上の一人暮らし高齢者と高齢者世帯を対象に、区ごとに毎月1回、町内での買い物のための送迎と介助をおこないました。

【区ごと（町内）】

	中区	加美区	八千代区
実施日	毎月第3火・水曜日	毎月第4火・水曜日	毎月第2水曜日
登録者数	19	15	10
参加者数	56	102	73

■無料法律相談の実施（活動目標4／ささえる）

年12回、無料で弁護士による法律相談を開催し、年2回調停等手続き無料相談会を町内有識者の協力を得て開催しました。

開設月	毎月第4火曜日
開設時間	午後1時～4時（1人30分）
開設場所	社協本部
利用者数	43（中区 30、加美区 5、八千代区 8）

■外出支援サービス事業の実施（活動目標4／ささえる）

町からの受託事業として、おおむね65歳以上の一人暮らし高齢者・高齢者世帯で、家族に車の運転できる人がなく、一般の交通機関を利用することが困難な人や下肢が不自由な人を対象に、医療機関等への送迎サービスをおこない、在宅福祉の向上を図りました。

視覚障がい者を対象に、医療機関等への送迎サービスをおこない、在宅福祉の向上と社会参加の促進を図りました。

登録者数	54（中区 30、加美区 16、八千代区 8）
利用件数（町内）	294（中区 202、加美区 34、八千代区 58）
利用件数（町外）	889（中区 400、加美区 367、八千代区 122）

■資金貸付事業の実施（活動目標4／ささえる）

生活問題を抱える世帯への援助として資金を貸し付け、世帯の生活の安定と向上を図りました。生活福祉資金は県社協からの受託事業として、また、法外援護資金は社協独自の貸付事業として実施し、両事業とも、民生委員児童委員と連携しながら実施しました。

	件数
相談件数	59
生活福祉資金の貸付件数(今年度/全体)	3/22
法外援護資金の貸付件数(今年度/全体)	0/5

■一時的食糧等給付事業（活動目標4／ささえる）

生活困窮者への支援として食糧等の生活に必要な現物の給付をおこない、その世帯の自立を促し円滑な社会生活が送れるよう支援しました。

	実績
相談件数（件）	2
利用件数（件）	1
給付金額（円）	2,457

■日常生活自立支援事業の推進（活動目標4／ささえる）

県社協からの受託事業として、認知症高齢者や知的障がい者など判断能力が十分でない人を対象に、住み慣れた地域で安心して自立生活が送れるよう、福祉サービスの利用や日常的な金銭管理などの援助をおこないました。また、事業が地域により浸透するよう、サービス内容の周知に努めました。

	件数
相談件数	110
契約者数	4
派遣回数	38

■ふとん丸洗いサービス事業の実施（活動目標4／ささえる）

布団が干しづらく、在宅で生活されている75歳以上の一人暮らし高齢者や75歳以上の高齢者のみの世帯の方、要介護認定「要介護5」の方、身体障害者福祉手帳「1級」の方、家族介護用品給付事業で「おむつ」を申請されている方を対象に、利用者が使用している布団の丸洗いをおこない、快適で衛生的な生活を支援しました。

利用者1人につき掛布団・敷布団・掛毛布・敷毛布をそれぞれ1枚ずつ、補助は1人7,000円までとし、超えた額は個人負担としておこないました。

回収日	6月5日（火）、6日（水）
返却日	6月12日（火）、13日（水）

利用者数	57（中区 24、加美区 16、八千代区 17）
平均利用額（円）	4,582

■歳末慰問事業（活動目標4／ささえる）

歳末たすけあい募金をおこない、要援護世帯や在宅で寝たきりや認知症の方など、新たな年を迎える時期に支援を必要とする方に、民生委員児童委員協議会の協力を得ながら実施しました。

【個人慰問】

		中区	加美区	八千代区	配分額（円）
A	生保受給世帯	21	6	5	160,000
B	準生保世帯	19	10	12	257,000
C	高齢者独居	44	54	45	715,000
D	高齢者世帯	13	8	14	175,000
E	母子世帯	18	11	22	255,000
F	父子世帯	0	0	1	5,000
G	寝たきり（在宅）	2	1	2	25,000
H	重度障がい者 （在宅）	9	4	8	105,000
I	認知症（在宅）	1	6	0	35,000
合 計		127	100	109	1,732,000

【施設慰問】

施設名		配分額（円）
特定非営利活動法人	あきら多可	50,000
	みどり会	50,000
	やちよ	50,000
	白ゆり会 ワークステップはーもにこい	50,000
	すまいる	50,000
	cambio	50,000
	ネクスト	50,000
	Esporte	50,000
合 計		400,000

■介護事業（活動目標4／ささえる）

事業所名	事業内容	昨年実績	本年度	
居宅介護支援事業 (ケアプラン)	ケアプラン件数	1,877	1,869	
	介護予防プラン件数	265	251	
	認定調査件数	149	133	
	実態把握件数	58	55	
	認知症相談センター相談件数	17	28	
	認知症初期集中支援チーム参加回数	11	11	
通所介護事業 (デイサービス)	稼働日数	313	312	
	延べ利用者数	7,713	7,587	
	1日あたり利用者数	24.6	24.3	
	転倒予防教室	36	36	
生きがい活動支援通所事業	延べ利用者数	129	170	
毎日給食サービス事業	延べ配食数／利用者数		282/5	
生きがい発揮事業	延べ利用者数／回数		112/10	
訪問介護事業 (ホームヘルパー)	訪問介護回数	10,902	10,546	
	訪問入浴回数	111	90	
	障害サービス	居宅	2,269	1,961
		移動	85	42
		同行(ガイド)	156	151
	軽度生活支援回数	111	111	
	養育支援回数	104	82	
計画相談件数	20	25		
認知症対応型共同生活介護 (グループホーム)	入居率(入居者数／日)	6.9	6.6	
	グループホーム運営推進会議	6	6	

■地域福祉推進委員会の機能強化（組織強化）

住民が主体となり、みんなが安心して暮らせるまちづくりを進めるため、地域福祉推進委員会の開催を支援しました。地域福祉推進委員は、住民の代表で構成されています。

	開催回数	内容
正副委員長会議	1	今期委員会の活動予定について
合同地域福祉推進委員会	1	地域福祉推進委員研修
中支部地域福祉推進委員会	4	地域内のつどいの場、社協まつり委員、評価委員、社協まつり、今期委員会の活動テーマ、今期委員会の活動詳細について相談
加美支部地域福祉推進委員会	5	取り組むテーマの検討、発達障害理解のための学習会について、発達障害理解のための学習会、来年度の活動内容について
八千代支部地域福祉推進委員会	11	絆カフェ喜楽、社協まつり、ちよいボラ、社協まつり振り返り、たかテレビ「あっ！たかインフォ」について、次年度の取組み、今年度の活動振り返り

■災害救援マニュアルの推進（組織強化）

- ・多可町防災訓練（多可町福祉避難所設置・運営訓練）
9月2日（日） 社協職員 6名参加

■地域福祉推進計画の発行・推進・評価（組織強化）

第3次地域福祉推進計画策定委員とともに作成した計画に沿って活動を進めました。また中間評価を行う年度であったため、外部委員を委嘱し評価委員会を立ち上げ2年間の活動について評価を行い、第3次地域福祉推進計画中間見直し書を作成しました。

評価委員会	5回（7/31、8/27、9/26、11/16、1/10）
ワーキング	5回（8/16、9/7、10/15、11/26、12/19）

■職員会議の開催（組織強化）

定期的に職員会議を開催し、職員間での情報共有を図り、社協活動のスムーズな運営体制を築きました。

■職場内外研修会の実施と参加（組織強化）

職場内では、職員会議と兼ねて勉強会を実施し、職員の資質向上に努めました。

職場外では、各種研修会に積極的に参加し、職員のスキルアップと他市町とのネットワークづくりに努めるとともに、研修内容を報告し、職員間での共有を図りました。

■関係機関との連携強化、情報共有（組織強化）

情報共有による効率的な事業展開を図るため、関係機関との連携強化、情報の発信と受信、定期的な連絡・調整会議を開催しました。事業連携推進会議、多可町「住民の地域互助活動向上に資する住民研修会」運営協議会、地域ケア会議やケース検討会、地域包括ケアネットワークミーティングなどの専門機関会議へ参加しました。

■社協会員への協力依頼（組織強化）

一般会員・賛助会員・団体会員で組織された会員制度を広く周知し、会員加入の促進を図りました。

- ・一般会費：5,632,500円
- ・賛助会費：357,000円
- ・団体会費：90,000円

合計 6,079,500円

■財源確保と情報公開（組織強化）

多様性に富んだ福祉事業を展開するため、社協だより多可やチラシなどで会費・共同募金等の啓発活動をおこないました。共同募金配分金や善意銀行預託金の有効活用の検討をおこない、使途の明確化を図りました。受託事業については、事業に見合う適正な委託金を行政へ要望し、介護事業収入については、町全域への介護事業の展開により増収を図りました。

・赤い羽根共同募金（組織強化）

募金額：4,210,005円 配分額：3,826,000円

・歳末たすけあい募金（組織強化）

募金額：2,879,242円

・善意銀行（組織強化）

金銭預託：108件

1,707,108円

■理事会・評議員会等の開催と研修会の実施（組織強化）

理事会	3回（6/9、12/12、3/19）
評議員会	3回（6/22、12/21、3/27）
三役会	4回（5/30、10/5、12/6、3/14）
評議員選任・解任委員会	1回（6/13）
役員研修会	1回（8/28「支え合い社会」県民フォーラム 神戸市）

■福祉センター等の管理運営

- ・指定管理制度により、春蘭荘を管理運営しました。

■その他

- ・7月豪雨災害で災害ボランティア派遣・・・多可町内浸水 1軒
日時：7月13日（金）
人数：2名（男性1名、事務局1名）
- ・7月豪雨に係る災害救援活動における県内社協職員の派遣
岡山県倉敷市玉島長尾 中国職業能力開発大学校（倉敷市災害ボランティアセンター）
8月9日（木）～8月13日（月） 田尻泰啓
9月5日（火）～9月8日（土） 植山公博
- ・岡山県倉敷市真備町への災害ボランティア派遣実施
日時：8月21日（火）
人数：16名（男性14名、女性2名）
使用車両：社協マイクロバス
（運転手1名、事務局2名）